

エフエム八ヶ岳番組審議会報告

エフエム八ヶ岳はリスナーの皆様のご意見を番組制作に反映させ、より良い番組づくりに努めております。放送内容について皆様からのご感想、ご意見をお待ちしております。今後の番組制作の資料とさせていただきますので、どうぞお気軽にお寄せください。

■2021年3月

エフエム八ヶ岳3月の番組審議会の議題は、番組「小林節子と大前玲子の Movie Brunch」（毎週土曜午前10時～10時55分、再放送あり）です。北杜市観光課の「水の山」映像祭実行委員会がラジオドラマ制作を目標に「映画とシナリオ」をテーマにした番組で、人気ある映画と音楽を題材にシナリオの構造を探り、ドラマ作りの魅力に迫ることが狙いです。放送内容について、審議委員6名の主な意見は次の通りです。

- ・新市長をゲストに、映画や音楽について聞いたり、北杜市への思いを聞いたりしてタイムリーな内容だった。番組では映画・音楽だけでなく市の自然、人、文化をテーマにしている濃い内容になっていた。
- ・インタビュー全体の運びが自然で、面白く聞かせてもらった。「水の山」映像祭実行委員会でこの番組の活動報告を含めた冊子「ほくとぞうし」を発刊。その中味について市長とも話していたが、市長の対応ぶりに人柄が伝わってきた。
- ・2年前に番組が始まった時にも審議したが、基本的にいい番組だと思う。一般の方のシナリオを添削していることも面白いと思った。「シナリオは変化」というキャッチコピーも分かりやすかった。
- ・就任したばかりの市長の出演に驚いた。普段着の姿を知ることができてよい企画だった。特に市長の文化に対する考えを知ることができた。
- ・番組がスタートしたばかりの時、とても好印象だった。今回も期待を裏切らない内容だった。MC小林節子さんのインタビューとしての素晴らしさが新市長の魅力をグンと引き出していた。
- ・さすがに元局アナの小林さん、知的で、嫌みがなく、さらさらと心に響く質の高い番組だ。映画音楽好きにとって、シナリオの構造をバラバラに分解、映画の狙いやせりふ回しの重要性などを分かりやすく解説してくれてお気に入りの番組の一つだ。
- ・以前の審議では、小林さんと大前さんがインド映画の面白さを話していたが、私もインド映画を見るようになった。今回は映画「バクダッドカフェ」について話をしていたが、この映画もさっそく見たい。主題歌の「コーリング・ユー」も雰囲気のある素敵な歌だった。
- ・MCとゲストしか知らないようなことについての笑いや、映画好きにしか分からないような内容をサラッとと言うなど、リスナーに対して説明してくれたらなあと思うことがあった。でも、この番組はエフエム八ヶ岳の番組の中では気に入っている番組だ。
- ・市観光課とタイアップした番組ということだが、4月からの中断を残念に思う。「ほくとぞうし」を見ても、27都道府県からドラマのシナリオ応募が680件あったことを報告している。もちろんこの番組の効果ばかりではないだろうが、これだけの反響があるので、番組の継続を望みたい。
- ・最近、映像文化も幅広くなってきてはいるが、逆に薄くなっているような気がする。そんな中で、少しでも質の良いものを紹介したり、作ったりといったことは、小さい力ながら意義がある。